

吉島福祉だより

発行 吉島学区社会福祉協議会

発行責任者 会長 平本 祐二

発行年月日 令和2年9月吉日

新型コロナウイルス感染拡大防止と「新しい生活様式」



新型コロナウイルスの出現でこれまでイベントや行事は中止されています。未だ終息の気配はなくまだまだ予断を許さない状況です。これからは新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために、「新しい生活様式」として、一人ひとりが感染防止の3つの基本である1. 身体的距離の確保、2. マスクの着用、3. 手洗いや「3密（密集、密接、密閉）」を避ける等の対策を取り入れた生活様式を実践していく必要があります。これは従来の生活では考慮しなかったような場においても感染予防の為にやるものです。新型コロナウイルス感染症は、無症状や軽症の人であっても、他の人に感染を広げる例があります。新型コロナウイルス感染症対策には、自らを感染から守るだけでなく、自らが周囲に感染を拡大させないことが不可欠です。そのためには一人ひとりの心がけが何より重要です。

これからは我々一人ひとりが、「新しい生活様式」を心掛けていくことで、感染症の拡大を防ぐことができ、自身のみならず、大事な家族や友人、隣人の命を守ることにつながるものと考えます。皆さん、「新しい生活様式」を身につけましょう。

吉島学区社会福祉協議会 会長 平本 祐二



少しずつ活動をしています

※状況により中止になることもあります

女性会

6月28日梅雨の晴れ間、高架下「いこいの広場」では花の植え替えが行われた。「久しぶりに皆さんの顔を見ることができて、嬉しい。」と、会長の石本さん。他のメンバーも「皆でワイワイするのがいい。」と、汗を拭きながら作業は進んだ。おしゃべりも……



やすらぎ会

名前の通り、ここに来てゲートボールをしながら、心が安らぐような時間を過ごすことをモットーとしている。メンバーは、最高齢89歳の方を含め12名。全国大会に3回も出場した実績もある。しかし一番大事にしたいのは、何と言っても仲間とゲートボールを楽しむこと。ほぼ毎日午前9時から、公民館北側のグラウンドで活動している。



いちじくの会

8月7日いちじくの会では、専門職・民生委員・ボランティアを含め26名で「もしバナゲーム」をした。自分の意思を表すことができなくなったらどうするか?といったシリアスなカードゲームだが、とても楽しかったとの感想だった。



麻雀を楽しむ会

8月18日手作りの麻雀台があり、メンバー13名のうち9名が女性だったのは意外だった。ひとりの女性は、「なかなか役が覚えられないんですよ。」と。麻雀を楽しむ会は第1・3(火)、囲碁を楽しむ会は第2・4(火)となっている。





ペタンク代表

(南朋寿会チーム) 川人、丸山、渡辺
(光令会チーム) 新井、藤川(正)、藤川(巨)
9/14の中区大会では上位入賞ならず。

グランドゴルフ代表

下崎、石本、丸山、植田、古谷、田中(稔)、
田中(早)、新井、川人、篠原、中田、平本(邦)
10/15の中区大会上位入賞者は、市大会に出場されます。



ソーシャルディスタンスをとるため二部
屋に分かれ、持ち寄ったタオルで手縫い
の雑巾を縫う。針を持つのは久しぶり。



作業終了後は、民生委員さんの手作
りランチをいただいた。



9月1日出来上がった雑巾80枚を吉
島小へ寄贈する。



8月20日、地域包括支援
センター、センター長加藤章
子様をお訪ねしました。8月
末をもって退職されました。
加藤さんは、約20年間にわ

たり、センターに持ち込まれるあらゆる相談
にのってこられました。いつも優しい笑顔で
接してこられました。目指したものは「在宅
支援ができるサービス」ですが、支援に入れ
ずサービスを受け入れてもらえなかったこと
もありました。しかし、支援ができて、セン
ターに相談して良かったと言われると、とて
もやりがいを感じたそうです。吉島地区の住
民もさることながら、社会福祉協議会にとっ
ても、大いに頼りになる存在でした。ありが
とうございました。これから、どうされます
か?とお聞きすると、とりあえずひと休みし
て、また何かできることが見つければ、頑張
りますといつもの優しい笑顔で答えられまし
た。

「災害に備えて、今一度」



吉島学区住民の防災意識を高めるための
活動をしているのが「連合自主防災会」。
2年に1度吉島小学校にて、大規模な防災
訓練を実施、また防災センターの見学も(高
陽町) 行っている。いずれも、今年は新型
コロナウイルスの感染拡大防止のため中止とな

った。
連合自主防災会の組織では、本部長を中心に情報広報、
施設管理、救援救護、食料物資の各班で構成されている。
町内では、町内会長を中心とした防災組織がある。災害の
種類に応じて避難所が明記された町内ごとの防災マップが
配布されているので、再度確認をお願いしたい。要支援者
は、ご本人の承諾を受けた上で、町内会長が把握している。
他にも防災無線が数か所に設置してあり、広島市危機管理
室から情報が入ってくる。災害時に必要な備品は倉庫に備
蓄している。

7月には、吉島小にて生活避難場所の開設までの訓練を
行った。幸い吉島地区には大きな災害は起きていないが、
豪雨、地震、津波、高潮、これからは台風にも備えておか
なければならない。「災害に備えて、今一度」ご家族、ご
近所さんと話し合ってほしい。最後に「防犯防災ニュース」
を発行しているので必ず読んでください。(奇数月発行)

～*～ 新任のごあいさつ ～*～

「よろしくお願いします」



本年4月に吉島公民館長に就任しました熊田でございます。よろしくお願いします。

吉島学区は、春の町民大運動会には始まり、年中、賑やかに行事が繰り広げられ、とても活気のあるまちというのが、隣まちに住む私の強い印象です。残念ながら今年度は新型コロナウイルス感染症のため、あらゆる行事の開催が困難となり、吉島学区におかれても我慢を強いられておられます。

例年11月に開催する公民館まつりも中止やむなしの決定となりました。しかし、大きな行事はさることながら、日々、共用部分の消毒など感染症対策を講じながら、図書コーナー、印刷サービス、会議室の提供等を行っています。ことぶき大学など各種主催事業やロビー展も3密を避けながら開催していきます。

どうぞ吉島公民館を我がまちの拠点として、安心してご利用・ご活用いただきますよう、また、引き続き公民館運営にご理解・ご支援賜りますようお願い申し上げます。

吉島公民館長 熊田 一雄

「あなたのおそばに民生委員」



岡山前会長の後任として会長の大任を拝しました井手清美と申します。出来ることは何でもさせて頂こうとの決意で頑張っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

ひとり暮らしの高齢者や子育て家庭の孤立、生活困窮者の増加など、地域にはさまざまな課題を抱え、手助けを必要としている方がいます。民生委員・児童委員は、住民のみなさんの身近な相談相手であるとともに、支援を必要とする方と専門機関との「つなぎ役」として住民のみなさんの心配ごとの相談に応じたり、高齢者世帯の見守りのための訪問や高齢者のいきいきサロン・子育てオープンスペースの協力など行っています。

町内会・社会福祉協議会などの地域の団体、地域包括支援センターをはじめとする専門機関と協力しながら住みよい福祉の町づくりのために活動していますので、いつでもお気軽にご相談下さい。

民生委員・児童委員協議会 会長 井手 清美

「地域を守る消防団です」



初めまして、広島市中消防団中島吉島分団長の澤井眞悟と申します。

平素より消防団活動にご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。

中島吉島分団は中島地区、吉島学区、吉島東学区内に居住する有志約20名で構成されています。

消防団の活動としまして災害が発生した場合には消防署と一体となって迅速に災害活動を行います。そのため、災害活動時には専門的な知識と技術が必要です。

定期的に消火訓練や救助・救護訓練を行い、災害活動能力を高めています。その他、火災予防運動、地域の防災訓練イベントの参加協力です。

1年を通しては消防出初式（1月）、フラワーフェスティバル（5月）、水防訓練（6月）、消防操法大会（9月）、年末特別警戒（12月）、防火訪問（11月、3月）等の活動を行っています。

現在、消防団員を募集しています。3学区内にお住まいで、この消防団活動をご理解される18歳以上の健康な方であれば、男女を問わず入団することが出来ます。詳しくは中島吉島分団員もしくは広島市中消防署へお問い合わせください。

広島市中消防団中島吉島分団長 澤井 眞悟

「皆さん、ご安全に」



昭和38年～39年頃、自動車交通量の急激な増加に伴い悲惨な交通事故も増加しました。そんな中、子どもの安全を守ろうと、町内の有志が自発的に通学路の危険箇所などで交通指導にあたりました。これが、交通安全推進隊結成の経緯です。昭和40年9月には、西警察署及び安全協会の協力を経て、現在の推進隊が発足しました。発足当時は、推進隊隊長として当時の市議会議員永田明氏（現市議永田雅紀氏の父上様）が活躍されました。

交通安全推進隊は、主に横断歩道付近などの街頭指導です。歩行者では特に、園児、児童、高齢者などの保護誘導を行い、車両などの運転者に対しては注意喚起を行い、日々交通事故防止に努めております。その他にも、春（4月）、夏（7月）、秋（9月）、冬（12月）全国交通安全週間を展開しています。皆さん！交通事故に遭わないように気をつけてください。

最後に、隊員を多数募集しております。吉島・吉島東学区で現在6名です。各町内会で隊員が必要です。募集しています。

吉島地区交通安全運動推進隊 班長 横島 喬春



ご寄付いただきました

中区吉島西一丁目株式会社ナガ・ツキ様より、吉島小学校へストーブ8基が寄贈されました。地域に貢献したいとの思いで贈られました。ありがとうございました。

高齢者の総合相談窓口です
広島市吉島地域包括支援センター
☎082-545-1123

お詫び

前回発行の福祉だよりの、広島市環境美化功労者表彰の中で、横島様のお名前が間違っておりました。正しくは横島喬春様です。お詫びして訂正いたします。